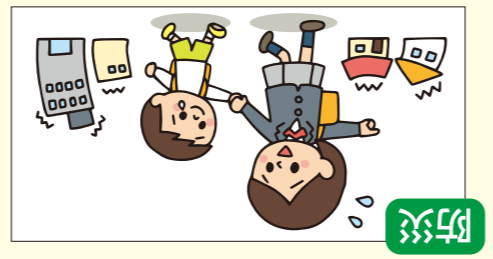


山や崖、川や水路には

・大雨が降ったら
場所身を寄せる

・地震が起ったら

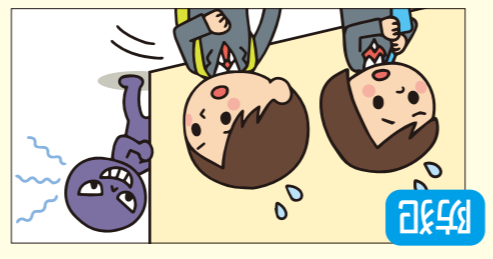
答えはこちらから



①すぐに
②大きな声で
③必ず警察に通報し、学校にも連絡する。

知らない人がついてきたり、連れていかれそうになったら

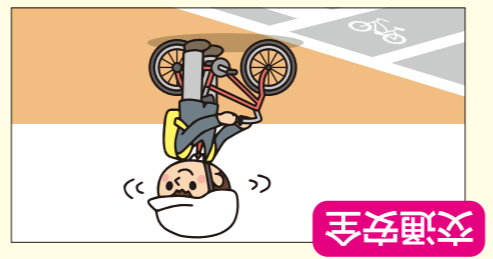
誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所には



歩いているときだけでなく、自転車に乗っているときも

を忘れないために、どういう場面で自分の行動が危険なものとなるのか、日頃から考えておこう。

※自転車は「車の仲間」です。自分が「加害者」とならないように、交通ルールを守りましょう。



どうすれば安全に登校(生活)できるかな?

3 自分の安全を守る方法を身に付けよう!

地震や大雨が発生したときに、状況が変わりやすい場所

大雨

- ・河川敷や水路沿い
- ・崖の近く

地震

- ・古く、手入れがなされていない住宅の側
- ・古びていたり、高さのあるブロッコリー塀の側

防災

誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所

例えば...

- ・人通りの少ない道路やトンネル
- ・人気のなく、外から見えにくい公園や公衆トイレ
- ・落書きやゴミがそのままにされている場所
- ・空き家と思われる住宅

防犯

「飛び出し」が発生しやすい場所

例えば...

- ・ブロッコリー塀や自動販売機、草木などがあり、見通しが悪い交差点
- ・信号機のない横断歩道
- ・歩道がない道路、お店や駐車場沿いの道路
- ・車と車の間

交通安全

どんな危険があるのかな?

1 校区の危険箇所を知ろう

校区安全マップの使い方

考えてみよう! ~中学生のみなさんへ~

避難所の様子を見てみよう (たかつき安全ノートP.36)

避難所は、災害発生時に自宅で生活できなくなった被災者が一定期間過ごすための場所です。避難所での生活は普段の生活とは大きく異なり、さまざまな制限を受け入れて生活しなくてはなりません。そのため、ルールを守り、役割分担をして助け合うことが大切です。避難所生活の様子について考えてみましょう。

- Q1. あなたの避難所はどこですか。
- Q2. 災害発生時、避難所への避難が必要なのはどのような状況のときでしょうか。
- Q3. 普段の生活と避難所での生活を比べてみましょう。

	普段の生活	避難所での生活
食事		
睡眠		
衛生面		

(衛生面…トイレ、お風呂、ゴミの処理など)

セーフティボランティアさん

通学路や校門のちかくで、みんなが安全に学校に通えるよう見守ってくれています。緑のベストや腕章が目印だよ。

「こども見守り中」の旗

みんなを見守ってくれている人が、街中にいることを知らせてくれています。たくさんの人に旗を掲示してもらえたら、地域の安全安心にもつながるね。



